



公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎市宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：山田はるひこ 編集人：浜田まさとし

令和元年 第5回 定例会 代表質問

日本一くらしやすい川崎へ!

12月5日、浜田まさとし議員は公明党川崎市議団の代表質問に立ち、下記の4項目をはじめ子育て支援や不登校への対応、認知症対策、密集市街地の改善、中小企業支援、若者施策など、30項目のテーマについて質問しました。



代表質問に立つ浜田議員

台風対策を強化せよ

台風15号・19号によって、大変な風水害がもたらされたことを受け、水門の操作基準の見直しを求めるとともに、雨水貯留管の整備や土のうステーションの増設、止水板の設置推進を要請しました。



上下水道事業管理者と健康福祉局長は市内に43カ所ある水門の操作見直しと、高津区内に3カ所ある土のうステーションの増設を約束し、止水板の設置補助を検討すると答えました。

就職氷河期世代の支援を!

30代・40代で正社員を希望しながら非正規として働く人は、全国で50万人以上と言われており、政府は国家公務員として採用するなど、3年間で正社員を30万人増やすとしています。川崎市も支援の取り組みをと訴えました。

経済労働局長は、川崎市独自の就職支援の窓口「キャリアサポートかわさき(予約ダイヤル 0120-953-087)」においてきめ細やかな就業支援に努めると答弁。

人事委員会事務局長は、川崎市役所の職員採用に関して、「世代を限定した採用試験について検討する」と答えました。

ヘイトスピーチの根絶を!

ヘイトスピーチという外国籍の方などへの憎悪に満ちた差別的な悪口は、断じて許せません。これを防止するため、全国初の罰則付き条例(差別のない人権尊重のまちづくり条例)を制定するに当たり、団体名や中心者の名前を変えたとしても罰則逃れができないようにするなど、対策を強化すべきと訴えました。

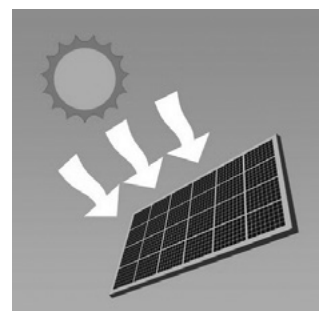
市民文化局長は、罰則逃れができないようにすると答え、「インターネットについても必要な対策をとる」と答弁しました。



地球温暖化対策の推進へ

令和元年11月、日本を含む世界153カ国の科学者1万1000人が「気候の緊急事態」宣言を発表し、再生可能エネルギーの拡大や省エネなどを世界中で推進すべきと訴えました。技術革新により薄型の太陽光パネルが登場したことなどから、川崎市においても太陽光発電や蓄電池、家庭用燃料電池の導入をと質問しました。

環境局長は、「環境配慮技術の開発動向をふまえ、創エネ・省エネ・蓄エネ機器の導入を推進する」と約束しました。



台風15・19号被害の復旧急げ!

代 表 質 疑

川島まさひろ議員 (中原区)

河川敷の一日も早い整備を!



川島まさひろ議員

11月25日、台風の被災者に寄り添い、早期の復旧に全力で取り組むことを表明し、補正予算について質問。

被災した住宅の復旧では、床や畳の張り替え、給湯器や電気設備の改修等、相当な費用負担があり、市単独の補助金制度の検討を求めました。

また、市民から要望の多い多摩川河川敷における野球やソフトボール、ゲートボール、パークゴルフ、サイクリングコース等の早期復旧をはじめ、市民ミュージアム、とどろきアリーナの整備や多摩川の川底のしゅんせつ等の取り組みをただしました。



春たかあき議員 (高津区)

災害支援金30万円支給へ



春たかあき議員

支援事業は被災者生活再建支援法の支援対象とならない半壊以下の3000世帯に対し、一律30万円を支給するものであり、本市独自の支援策です。

12月12日の質疑では、集合住宅の賃借人で罹災証明書を申請していない方、罹災証明書をとらずに転居された方などの救済を要請。

市からは「市ホームページや市政だよりを活用した広報により、手続き方法の周知を行う。転居者には転居先へ申請書を送る」との答弁を得ました。

また、今後の自然災害時の国・県の支援対象とならない方々への支援について、検討すべきと質問。

市長は「国の制度において、被災内容や被災規模の実態に対応した支援となるよう、他都市とも連携しながら国に求めていく」と答弁しました。

お 知 ら せ

私立高校、短大・大学の負担軽減がスタート

消費税率引き上げ分を財源に、4月から私立高校授業料および大学・短期大学などの授業料負担が軽減されます。

私立高校の授業料は、年収約590万円未満の世帯まで対象が広がり、就学支援金等も引き上げとなります。

大学・短大等の授業料軽減の割合は所得水準によりますが、年収約380万円未満の世帯が対象となります。

【問い合わせ先】
日本学生支援機構
奨学金相談センター
☎0570-666-301



風疹ワクチンの予防接種 早めの受診を

川崎市は風疹患者の増加を受け、40歳から47歳の方に抗体検査と予防接種のクーポン券を令和元年6月に送付しています。(48歳から58歳の方には、令和2年4月以降に送付予定)

今のところ利用者は1割以下ですが、風疹は、妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんに心臓病や難聴、白内障などのリスクが生じます。早めの受診をお願いいたします。

【問い合わせ先】
川崎市予防接種コールセンター
☎044-330-6940



川崎浮世絵ギャラリー 12/3オープン!

川崎・砂子の里資料館の浮世絵コレクションが12月3日から、川崎駅前タワー・リバー3Fで見られることになりました。

川崎の歴史的文化的財産である作品の数々は必見です!

【問い合わせ先】
川崎浮世絵ギャラリー
☎044-280-9511

